

令和7年度 学力向上のための重点プラン【中学校】 新宿区立牛込第一中学校

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1・令和7年5月9日】

授業作り	重点	タブレット端末も有効活用し、基礎・基本の定着に取り組む。 思考力・判断力・表現力等の伸長と学習意欲の向上に向け、授業展開の工夫改善を行う。
環境作り		授業規律を徹底するとともに、きめ細かく生徒を見取り、健全育成を推進する。 日常的な協働活動をととして、自分を磨き、仲間とともに伸びる善意の集団を育成する。

■ 各教科の取組について

教科	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子などから)	目標達成のための取組
国語	・第3学年は外国籍の生徒の割合が高く、試験等で十分に実力を発揮できる日本語力がまだ定着していない。そのことが新宿区学力定着度調査におけるD層の割合に関係していると考えられる。 ・新宿区学力定着度調査において、第2学年の平均点は全体的に区を上回っているが、状況や自分の思考に沿って記述することには課題がある。	・第3学年は外国籍の生徒のための支援を、外部機関とも連携して充実させることで基礎・基本の定着につなげていく。学年全体としては、短い文を読み、要約する練習を積ませる。 ・第2学年は文章を読むときに留意すべきポイントを都度確認し、様々な文章にふれて実践を積ませる。	・小テストの定期的な実施 ・小作文 ・フラッシュカード ・デジタルドリルを活用した、漢字・語句・文法の反復練習 ・前の学年での既習事項の復習
数学	・第3学年は「思考・判断・表現」において、関数のグラフを考え推察する問題において正答率が低い傾向がある。新宿区学力定着度調査では、平均を6ポイント上回り定着が見られた。 ・第2学年は新宿区学力定着度調査において全体の値は区の平均を上回ったが、関数の知識・技能において正答率が低い傾向がある。	・第3学年は、計算問題以外にもグラフの作成やデジタル教材を用いた授業を行い、視覚的にグラフを捉える機会を増やす。 ・第2学年は、学習アプリなど活用して視覚的に関数を捉える場面を増やし、そこから式に表す実践を積ませる	・継続的な小テストの実施 ・デジタルドリルを活用した復習 ・グループワークでの協働学習 ・追加プリントによる反復練習

理 科	・第3学年は、基礎、応用ともに全国平均を上回ったものの応用分野においては全国平均点とさほど差がない。新宿区学力定着度調査では、基礎、応用ともに平均を大きく上回った。 ・第2学年は、新宿区学力定着度調査において、基礎、応用とも区の平均を下回った。特に応用分野での得点の開きが大きかった。	・第3学年は、自分の言葉による理解を図り、意見を交換し合い発表することで深い学びに結び付けていく。 ・一度問題を受け止め咀嚼してから発言する生徒が多く、対話型の授業展開がうまくあてはまったので継続していく。 ・第2学年は、粘り強く取り組んだり、事象を深く掘り下げることが苦手な傾向にある。それが「思考力・判断力・表現力等」の向上に影響していると思われるため、授業展開や発問を工夫し、問題解決や論理的にデータを分析する場面を増やしていく。	第3学年 ・少人数グループによる活動 ・場面に応じた発表活動 第2学年 ・牛一タイム（朝の10分間自習）におけるデジタルドリルなどの短答式の学習 ・深い学びにつながる発展学習や読解力問題への取組 ・科学的事象に対し、それを確かめるのに必要な方法の構築やデータを読み取りそこから推論する問題への取組
社 会	・第3学年は、基礎学力の定着が不十分で、社会への苦手意識がある生徒が多い。また、思考力、判断力・表現力等を問う問題を不得意とする生徒が多くみられる。活動型の授業は積極的に取り組むことができる。 ・第2学年は新宿区学力定着度調査において基礎と応用が共に区の平均を上回り、一定の成果を得ることができた。しかしながらC層が多いため、引き続き基礎学力の定着を図り、A層とB層が増加するよう努める。	・デジタルドリルやワークを活用した授業や家庭学習を通じて、学力の定着を目指す。 ・活動型授業で、調査→思考→発表というプロセスを踏むことで基礎的知識の定着がみられたので、今年度も継続する。 ・講義型授業の中で、基礎事項を身に付けた上で、資料から必要な情報を読み取り、歴史的事象や自らの考えをまとめて記述する時間を設けることで、思考力・判断力・表現力を高めていく。 ・第3学年は引き続き授業で資料の読み取りや基礎事項の確認を繰り返して基礎学力の定着を図りながら、応用問題や発展的な問いや学習にも取り組ませることで、B層の増加につなげていく。 ・第2学年は引き続き授業で資料の読み取りや基礎事項の確認を繰り返し、基礎学力の定着を図る。また、教材開発を通じて生徒の社会への興味・関心を高めていく。	・基本事項の徹底 ・デジタルドリルの活用 ・ワークシートの工夫 ・机間指導の充実 ・活動型授業を行う中での発表活動

英語	・第3学年は、新宿区学力定着度調査において区や国平均は上回った。課題であった「応用」または「思考力・判断力・表現力等」においても、伸びてきている。来年度も、基礎の定着はもちろんのこと、さらに「思考力・判断力・表現力等」を意識した授業作りをしていきたい。 ・第2学年は、新宿区学力定着度調査において区や国平均は上回っているが、C層・D層の合計が50%を超えている。まず基礎の定着を課題にしていく必要がある。	・第3学年は、受験に向けて、さらに「思考力・判断力・表現力等」の向上を目標に、「読解力」と「スピーキング力」の向上を目指していく。また、基礎基本の定着のために「単元テスト」なども継続して行っていく。 ・第2学年は、基礎・基本の定着のために「単元テスト」などをこまめに行っていく。また、帯活動を工夫し、基礎の定着を繰り返し行っていく。	第3学年 ・帯活動での「基本的な表現」の繰り返し練習 ・「読解力」向上のために、設定時間内に読解問題に取り組み、要約 ・自ら考えたことや他者に伝えたいことを英作文で表現 ・「スピーキング力」をつけるためのALTとのコミュニケーションテスト 第2学年 ・単元テストや帯活動で基本的な文法を用いた会話練習の工夫
-----------	---	---	--